

2019 年度

キウイフルーツ病害虫防除暦

J A 中野市営農センター

散布日	散布時期	散布薬剤(水100ℓ当り)		収穫前 使用 時期	使用 回数 (以内)	散布量 10a 当り	対象病害虫	注意事項
月 日	3月下旬 発芽前	(水90ℓ) 石灰硫黄合剤	10ℓ	発芽前	—	300ℓ	カイガラムシ類	①石灰硫黄合剤は隣接する ハウスビニールにかから ないようにする。 ②剪定跡にはトップジンMペ ーストを必ず塗布する。
月 日	5月下旬 開花前	展着剤 アグレプト水和剤 スプラサイド水和剤	10ml 100g 66g	90日前 60日前	4回 3回	350ℓ	花腐細菌病 かいよう病 クワシロカイガラムシ	①主幹部のコウモリガ食入 はハリガネ等で捕殺する。
月 日	7月上旬	展着剤 ダコニール1000	10ml 100ml	60日前	7回	350ℓ	果実軟腐病 すす斑病	
月 日	10月上旬	展着剤 トップジンM水和剤	10ml 100g	前日	5回	350ℓ	果実軟腐病	①収穫前の最終防除。 貯蔵・追熟中の病害の重 要な防除となります。

* 上記以外で、キウイフルーツに登録のある農薬例

農薬名	倍率	収穫前規制	使用回数	対象病害虫	使用時期
フェニックスフロアブル	4000	7日前	3回	キイロマイコガ・ハマキムシ類	5月下旬頃
モスピラン顆粒水溶剤	2000	7日前	3回	カイガラムシ類	5月下旬頃
アグリマイシン-100	1000	落花前	3回	花腐細菌病・かいよう病	6月中旬まで
ベンレート水和剤	2000	7日前	5回	果実軟腐病・すす斑病	7月上旬頃
アディオン乳剤	2000	7日前	5回	カメムシ類・キイロマイコガ	7月下旬から8月下旬

* 果実肥大促進(フルメット処理) 1回のみ 散布時期に応じた処理濃度にしましょう。

時期	薬剤名	濃度	使用 回数	注意事項
開花後20～25日	フルメット液剤	2. 5ppm (水4ℓに 10ml 瓶1本)	年間を 通じて	①果実浸漬、または果実散布 ②着果過多の場合、樹勢が低下する恐
開花後25～30日	フルメット液剤	5. 0ppm (水2ℓに 10ml 瓶1本)	1回のみ	れがあるため、適正着果量にする。

- * 処理が遅れると、肥大効果が十分ではなくなります。開花後30日までに処理しましょう。
- * 早い時期に処理する場合は、濃度が濃いと変形果の発生が多くなりますので注意してください。

6月～7月末で果実の大きさが決まります。土壌の乾燥や摘果遅れ等に注意。